

津田塾大学創立125周年記念事業
国際女性デー記念

特別対談

変革を担う、
女性であること



Be the change!
の先にあるもの

～女子大学の意義を語り合う～



津田塾大学

学長 高橋 裕子

津田塾大学学芸学部英文学科卒業。
筑波大学大学院修士課程修了。カンザス大学大学院（米国）にて M.A. 及び Ph.D.

を取得。桜美林大学専任講師・同助教授を経て、1997 年から津田塾大学助教授、2004 年から同教授（～現在）。2016 年より同大学長、学校法人津田塾大学代表業務執行理事・常務理事。

専門はアメリカ社会史（家族・女性・教育）、ジェンダー論。

日本私立大学連盟常務理事、文部科学省大学設置・学校法人審議会会長、大学基準協会会长、アメリカ研究振興会常務理事、ジェンダー史学会常任理事、日本学術会議会員。

主な著書に『津田梅子の社会史』（玉川大学出版部、2002 年、アメリカ学会清水博賞）、『津田梅子—女子教育を拓く』（岩波ジュニア新書、2022 年）、編著に『女子教育のパイオニア津田梅子』（ミネルヴァ書房、2025 年）、共編著に『女性学長はどうすれば増えるか—国内外の現状分析と女性学長からのメッセージ』（東信堂、2022 年）等。



京都女子大学

学長 竹安 栄子

関西学院大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得退学、追手門学院大学教授を経て、2000 年京都女子大学現代社会学部教授、同学部長。2016 年名誉教授、2017 年特命副学長、2020 年から京都女子大学長、京都女子学園常務理事。

大学の教育目標にジェンダー平等推進を掲げ、社会に貢献する女性人材の養成を目指す。専門分野は地域社会学。研究テーマは「地域政治への女性の参画」「Community based Tourism による地域振興」など。地域政治への女性の参画推進のため、研究者として各種セミナーや講演活動も行う。

近著に「ジェンダー平等推進に果たす女子大学の役割～京都女子大学の挑戦～」「NWEC 実践研究』第 13 号（国立女性教育会館、2023 年）、共著に『地域社会と女性リーダー』（神戸学院大学出版会、2022 年）、その他「地域社会の持続的発展に向けて—女性のためのリカレント教育の意義と課題—」「地域探究の視角」（ラグーナ出版、2024 年）等を執筆。

2026
3/25 水 14:00 (開場: 13:30) — 15:30

津田塾大学 小平キャンパス

〒187-8577 東京都小平市津田町 2-1-1

※ご来訪の際は公共交通機関をご利用ください。

西武国分寺線「鷺の台」駅より徒歩約 8 分 / JR 武蔵野線「新小平」駅より徒歩約 18 分

JR 中央線「国分寺」駅北口より西武バス（武蔵野美術大学行）約 12 分「津田塾大学」下車すぐ

お申込みは
下記二次元コードから



参加無料
要事前登録
定員になり次第
受付を終了します。
<https://forms.gle/hqbQyRjfAJuJC7Sj9>

主催 津田塾大学記念事業委員会